

【特別レポート】マーケットの動きが気になる方へ

いつもセゾン投信を応援していただきありがとうございます。

足もと1か月間を振り返ると世界の株式市場は下落が続いており、セゾン投信のグローバル投資を行う2ファンドも基準価額が乱高下しています。米国の利上げ、エネルギー・資源・食料品を中心とした物価上昇に加えて、ウクライナ侵攻の政情不安などから世界的な景気後退局面を意識してリスクを回避する動きが続いています。利上げについては米国だけでなく、欧州も利上げを検討しています。過度に期待が高かった一部のハイテク株の調整、金利上昇はある程度織り込まれてきたように思われます。ウクライナ侵攻に関しては市場関係者の想定よりも長期化の様相を呈していますが、悲観要因は徐々に少なくなりつつあります。

物価上昇は一時的に企業業績の足を引っ張ると思われそうですが、生活に必要なモノやサービスは値上げをすることでいずれ企業業績向上に繋がるでしょう。私たちの身の回りでも値上げを目にしますが、歴史を振り返ってみてください。過去、石油ショックを契機に省エネ技術が飛躍的に進歩を遂げました。資源価格高騰を契機に代替素材や代替技術の開発が進みました。資源大国であるロシアの天然ガス・石油・金・ダイヤモンド・パラジウムはいずれも高いシェアを誇っていますが、これらの供給が断たれると企業は活動を止めてしまうのでしょうか。当然、これらが無いのを前提にして新たな取り組みを始めるでしょう。いまは目に見えやすい悲観に意識が寄ってしまっていますが、その裏では必ず新たな潮流が芽生えます。

時代に適した新たな潮流の発生は時間の経過とともに経済活動に貢献します。1か月より3年、3年より5年に目を向ければ、株式市場はしっかりと評価をしているのは下表の通りです。

| | 1か月 | 1年 | 3年 | 5年 | 設定来※ |
|-------------------------|-------|-------|-------|-------|--------|
| セゾン資産形成の達人ファンド | ▲9.3% | ▲3.1% | 37.2% | 54.3% | 187.0% |
| セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド | ▲5.2% | 3.6% | 28.9% | 37.2% | 87.0% |

2022年5月23日時点Bloombergデータを基にセゾン投信作成

※2022年5月25日に設定来データを追記しました。

次回の新たな潮流が正当に反映される時に備えて、将来のためにいま必要な正しい行動が求められます。現時点で弱気相場入りを懸念して投資を中断する、また今後の展開を先回りして個人の資産ポートフォリオの割合を変更する等、相場の予想に基づいて行動を取ることにに対してセゾン投信は15年以上一貫して否定してきました。アタマでは理解できてもカラダは違う動きをしてしまう。これらを回避する手法の1つが積立投資ですし、一定の成果が出ていることは16万口座に達しようとするセゾン投信の直販のお客さまの実績が証明しています。いま右往左往しているのは短期の売買を繰り返す勢力です。私たちは長期投資家ですからお付き合いする必要はありません。

「いそがないで歩こう」を体現してまいりましょう。

2022年5月24日
セゾン投信株式会社
代表取締役社長COO
園部 鷹博

「普通」が続く。それが、豊かさ。

ご留意事項

当資料は情報提供を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので基準価額は変動します。その結果、購入時の価額を下回ることもあります。また、投資信託は銘柄ごとに設定された信託報酬等の費用がかかります。各投資信託のリスク、費用については投資信託説明書（交付目論見書）に詳しく記載されております。お申込にあたっては販売会社からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

投資信託に関するリスクについて

◆基準価額の変動要因

セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド
セゾン資産形成の達人ファンド

当社の運用、販売する上記ファンド（以下、2つのファンド）は、ファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。2つのファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。2つのファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」や「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。したがって、投資元本は保証されているものではなく、一定の投資成果を保証するものではありません。また、基準価額の下落により投資元本を割り込むことがあります。運用による損益は、すべてお客さまに帰属します。

◆その他のご留意点

投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構、貯金保険機構、および保険契約者保護機構の保護対象ではありません。加えて証券会社を通じて購入していない場合には、投資者保護基金の対象となりません。

お取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。投資信託の設定・運用は委託会社がおこないます。

投資信託に関する費用について

◆投資者が直接的に負担する費用

○購入時手数料：ありません。

○信託財産留保額：換金申込受付日の翌々営業日の基準価額に0.1%の率を乗じた額が控除されます。

◆投資者が信託財産で間接的に負担する費用

○運用管理費用：

セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド

ファンドの日々の純資産総額に年0.495%（税抜 年0.45%）の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的にお客さまにご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年0.56%±0.02%程度（税込）となります。

セゾン資産形成の達人ファンド

ファンドの日々の純資産総額に年0.572%（税抜 年0.52%）の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的にお客さまにご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年1.34%±0.2%程度（税込）となります。

※ファンドが投資対象とする投資信託証券における信託報酬を加味した実質的な負担額の概算値です。各投資信託証券への投資比率、各投資信託証券の運用管理費用の料率の変更等により変動します。

○その他費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用（有価証券の売買の際に発生する手数料や、有価証券の保管に要する費用等を含む）、監査報酬（消費税含む）、立替金の利息等が信託財産の中から差し引かれます。なお、当該その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に計算方法、上限額等を示すことができません。

当資料で使用しているデータ等について

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

積立について

積立による購入は将来における収益の保証や、基準価額下落時における損失を防止するものではありません。また、値動きによっては、積立よりも一括による購入の方が結果的に有利になる場合もあります。

当資料で使用している指数について

「Bloomberg®」は、Bloomberg Finance L.P.、および同インデックスの管理者であるBloomberg Index Services Limited（以下「BISL」）をはじめとする関連会社（以下、総称して「ブルームバーグ」）のサービスマークです。

ブルームバーグは、ブルームバーグ指数に対する一切の専有権利を有しています。ブルームバーグは、このマテリアルを承認もしくは支持するものではなく、また、このマテリアルに含まれるいかなる情報の正確性もしくは完全性についても保証するものではなく、明示黙示を問わず、このマテリアルから得られる結果に関していかなる保証も行わず、また、法律上認められる最大限度において、ブルームバーグはこのマテリアルに関して生じるいかなる侵害または損害についても何らの責任も債務も負いません。

「Vanguard」（日本語での「バンガード」を含む。）商標は、The Vanguard Group, Inc. が有し、セゾン投信株式会社および承認された販売会社にのみ使用許諾されたものです。また「セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド」は、The Vanguard Group, Inc.より提供、保証又は販売されるものではなく、また投資に関する助言を受けていることを表すものでもありません。従って、The Vanguard Group, Inc.は当ファンド・オブ・ファンズの発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

商号：セゾン投信株式会社（設定・運用・販売を行います）

金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第349号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

「普通」が続く。それが、豊かさ。



セゾン投信